

<外国語における活用のポイント>

授業は言語活動を中心に行い、デジタル教科書や ICT の活用は、言語活動及び「言語活動を通して」指導の充実を目指すことが求められる。また、学習者用デジタル教科書では、個別最適な学びに対応した活用が有効である。

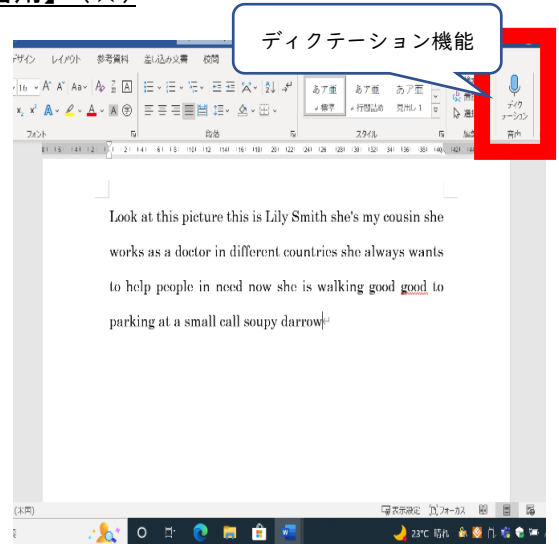
※外国語科デジタル教科書（学習者用）は令和4年4月に全国の中学校に導入され、東京書籍よりデジタル教科書のアカウントの情報が各学校に送付済み

事例1 発音、音読練習の場面 【学習者用デジタル教科書の活用】(★)

使う機能：本文再生機能、ワード

《ねらい》発音と文字を認識し、リスニング力を高める。

- ①学習者用デジタル教科書の再生機能を使い、本文を1文ずつ聞く。
- ②聞き取った文をワードに音声入力する。(ワードのディクテーション機能を使用する。設定ボタンから英語を選択)
- ③自分の発音が正しいかを自分で確認する。



効果的ポイント

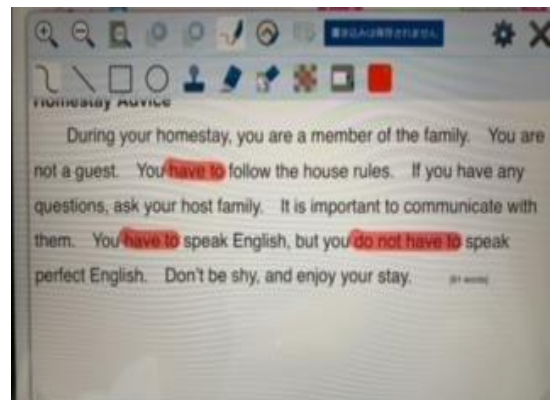
デジタル教科書は、英文を読み上げるスピードを変えることができるため、自分の力に合わせて、発音練習に取り組むことができる。教室で使用する際には、イヤホンやヘッドセットを使用すると聞きやすい。

事例2 教科書内容理解の場面 【学習者用デジタル教科書の活用】(★)

使う機能：マーカー機能

《ねらい》教科書の本文の理解度を自分で確認する。

- ①学習者用デジタル教科書のマーカー機能を使い、定着していない表現等にマーカーを引く。
- ②定着した表現のマーカーを消していき、自分の学びに合わせたデジタル教科書を作成する。保存非対応の部分はスクリーンショットで保存する。(ワークシート形式の部分は保存可能)



効果的ポイント

ノートに書き写す時間を短縮することができ、その時間を言語活動に充てることができる。マーカーをもとに、自分で学習方法を選択することができる。